

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-99	高等学校	地理歴史	地理総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	地総 007-901	新選地理総合 welcome to geography		

1. 編修の基本方針

○ 2 条の目標を達成するため、次の通り編修した。

- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、学習効果の高い地図やグラフを多数掲載した。また、同様の観点から、地理的事象の歴史的背景や最新情勢などを学べる「コラム」を設けた。さらに、作業的で具体的な体験を伴う学習を通じて地理的技能を養えるコラム「アクティブ」も多数設けた（第 1 号）。
- ・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒の思考力、判断力、表現力等の養成に資する問いかけを全編にわたって掲載した（第 2 号）。
- ・主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、生活圏における地理的な課題の把握、調査、考察、構想のあり方についての記述を掲載した（第 3 号）。
- ・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、地球環境問題と国際的な取り組みについての記述を掲載した（第 4 号）。
- ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、我が国の領土に関する内容を詳述した。また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、国際理解に資する内容を詳述した（第 5 号）。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第 1 編	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本章の内容に関わる知識・技能について、作業的で具体的な体験を伴うコラム「アクティブ」でその定着を図れるように工夫した（第 1 号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、自主及び自律の精神を養う観点から、GIS による分析を紙面上で体験できる教材を設け、位置や分布に着目した地理的な学びの契機に位置付けられるように工夫した（第 1 号、第 2 号）。	p. 13, 17, 25 p. 185-191 p. 15, 透過シート

	・我が国と郷土を愛する観点から、世界的な視野に立って我が国の位置やあり方を捉えられるような図版やコラムを設けた（第5号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、地理的な学びに資する地図教材（位置や分布に着目した教材）を複数掲載した（第1号）。	p. 16-17 p. 18-24
第2編1章	・自主及び自律の精神を養う観点から、本章の内容を主体的かつ選択的に学習できるよう配慮した（第2号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、地理的環境と生活文化との相互依存関係に着目しながら知識を深められる本文記述とした（第1号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、世界の諸地域における生活文化のあり方などを中心に、国際理解に資する内容を詳述した（第1号、第5号）。 ・自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、生徒にとって身近な事例を主題として設定したコラム「アクティブ」を設け、主体的・対話的な深い学びを実現できるように工夫した（第3号、第5号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本章の内容に関わる知識・技能について、作業的で具体的な体験を伴うコラム「アクティブ」でその定着を図れるように工夫した（第1号）。	p. 3, 7 p. 26-41 p. 42-127 p. 59, 79, 103, 127 p. 186-187, 191-195
第2編2章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、現代社会が抱える多様な地球的課題と国際協力のあり方について詳述した（第1号、第4号、第5号）。 ・自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、具体的な地球的課題を主題として設定したコラム「アクティブ」を設け、主体的・対話的な深い学びを実現できるように工夫した（第3号、第5号）。	p. 128-147 p. 148-149

第3編1章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する観点から、主に我が国の自然環境や自然災害、防災のあり方について詳述した（第1号、第5号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、自主及び自律の精神を養う観点、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、本章の内容に関わる知識・技能について、作業的で具体的な体験を伴うコラム「アクティブ」でその定着を図れるように工夫した（第1号、第2号、第3号）。	p. 150-167 p. 188-189, 196-197
第3編2章	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、自主及び自律の精神を養う観点、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、地域調査の手法に関する内容を詳述した（第1号、第2号、第3号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、自主及び自律の精神を養う観点から、GISによる分析を紙面上で体験できる教材を設け、地域（自然環境と社会環境）に着目した地理的な学びの契機に位置付けられるように工夫した（第1号、第2号）。	p. 168-177 p. 174, 透過シート

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第五十一条二項（一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること）に則して、生徒が社会生活を送るうえで必要となる地理的技能を無理なく養えるよう、特に配慮した。
- ・学校教育法第五十一条三項（社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと）に則して、多様なコラムや問いかけなどを通じて、生徒が多面的・多角的に物事を理解したり考えたりできるよう、特に配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-99	高等学校	地理歴史	地理総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	地総 007-901	新選地理総合 welcome to geography		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「地理総合」が地理歴史科の必修科目であることを鑑み、生徒が興味・関心を持ちながら、基礎的・基本的な事項を無理なく学習できるように、以下の点について配慮した。

- 1) 地理的なトピックや地理的事象の歴史的背景、世界や日本の最新情勢などを学べる「コラム」を随所に設けることで、生徒の興味・関心を喚起しつつ、多面的・多角的な観点から世界の人々の生活文化を捉えられるように工夫した。
- 2) 生徒の主体的な学びを促したり、学習の動機付けをはかったりできるように、各種資料の着眼点を設問化した「check」を随所に設けた。
- 3) 地理的な見方・考え方を踏まえた主体的な調査活動や考察・構想活動を促す「Try」を各単元末に設けた。
- 4) 生徒の主体的な学びを喚起できるよう、作業的で具体的な体験を伴うコラム「アクティブ」を設けた。
- 5) 地理情報を用いた汎用的かつ実践的な地理的技能の端緒となるよう、地理情報システム(GIS)の分析機能を紙面上で体験できる教材「透過シート」を設けた。
- 6) (A)「地図や地理情報システムで捉える現代世界」で扱う「我が国の位置や領域」については、世界的視野から我が国の位置や範囲を捉えることのできる地図や諸資料を掲載したほか、海洋国家としての特色を理解できるコラムを掲載した。
- 7) (B) - (1)「生活文化の多様性と国際理解」における「世界の人々の特色ある生活文化」については、生徒が考察するにふさわしい特色ある事例(テーマ)を選んで学習できるように配慮した。
- 8) (B) - (1)「生活文化の多様性と国際理解」における「世界の人々の特色ある生活文化」については、日本との共通点や相違点に着目し、多様な習慣や価値観などをもっている人々と共存していくことの意義に気付けるコラム「アクティブ」を各単元末に設けることで、生徒が国際理解のあり方を日常的な視点と結び付けて捉えられるように工夫した。
- 9) 人々の生活文化と密接に関わる世界の気候と地形については、教科書のどのページを開いていても常に参照できるように工夫した。

- 10) (B) - (2)「地球的課題と国際協力」について，持続可能な社会づくりなどに着目しながら諸課題の現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察，構想，表現したり，それらを基に議論したりする力を習得できるように，具体的な事例に基づくコラム「アクティブ」を単元末に設け，生徒の主体的・対話的で深い学びの一助となるように工夫した。
- 11) (C) - (1)「自然環境と防災」について，防災の前提となる地理的技能（地形図や主題図の読図など）を無理なく習得できるよう，作業的で具体的な体験を伴うコラム「アクティブ」を豊富に設けた。
- 12) (C) - (2)「生活圏の調査と地域の展望」における「地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法」の習得については，具体的な地域とテーマ（防災）を設定し，その地域における課題の把握，調査，考察，構想のあり方を詳述するとともに，イラストを多用して視覚的に無理なく習得できるように工夫した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	(A)地図や地理情報システムで捉える現代世界	p. 8-25	10
第2編 国際理解と国際協力	(B)国際理解と国際協力	p. 26-149	39
第1章 生活文化の多様性と国際理解	(1)生活文化の多様性と国際理解	p. 26-127	31
第2章 地球的課題と国際協力	(2)地球的課題と国際協力	p. 128-149	8
第3編 持続可能な地域づくりと私たち	(C)持続可能な地域づくりと私たち	p. 150-177	11
第1章 自然災害と防災	(1)自然環境と防災	p. 150-167	7
第2章 地域調査	(2)生活圏の調査と地域の展望	p. 168-177	4
		計	60